

## 第345回 所長会議議事要旨

日 時 令和6年8月23日(金) 11:00 ~ 11:50

場 所 管理棟大会議室 + ウェブ (Teams) 併用

出席者

【構成員】 浅井機構長、足立理事、長野理事、花垣理事、道園理事、齊藤素粒子原子核研究所長、船守物質構造科学研究所長、小関加速器研究施設長、波戸共通基盤研究施設長、小林 J-PARC センター長 (東海キャンパス所長)

【オブザーバー】 住吉監事、辻監事

【管理局等】 五味田総務部長、永木研究協力部長、櫻井参事役、岡田安全衛生推進室長、勝田広報室長、塚監査室長、岩見人事担当課長、横田施設企画課長、山本整備管理課長ほか

議事に先立ち、浅井議長から今月末で監事を退任される住吉監事及び辻監事に対し、謝意が述べられた。

議 事

【1】 第344回議事要録の確認について

資料1のとおり承認された。

【2】 協議

(1) 教員公募 (加速器・教授1名・J-PARC 主リング)

小関施設長から、資料2に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(2) 教員公募 (加速器・教授1名・ヘリウム液化冷凍システム)

小関施設長から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(3) 教員公募 (加速器・教授1名・電子陽電子入射器)

小関施設長から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(4) 教員公募 (加速器・教授1名・放射光源加速器)

小関施設長から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(5) 教員公募 (加速器・教授1名・超伝導加速器)

小関施設長から、資料6に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(6) 教員公募 (加速器・准教授1名・J-PARC 主リング)

小関施設長から、資料7に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(7) 教員公募 (加速器・助教1名・J-PARC 主リング)

小関施設長から、資料8に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

なお、今後の助教に関する公募の方針について質問があり、分野を限定せず広い専門分野をカバーする内容で、特別助教からスタートするテニユアトラック的な運用の公募を基本としつつ、特定の分野・グループで若手が必要となる場合には、優先順位をつけながら分野を限定した公募も併用し進めていく旨の説明があった。

(8) 教員公募 (加速器・助教1名・放射光源加速器)

小関施設長から、資料9に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

(9) 教員公募（共通基盤・教授1名・計算科学センター）

波戸施設長から、資料10に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

なお、非常に重要なポジションであるが、この分野の人材は引く手あまたのため採用が困難ではないのかとの質問があり、計算機システム人材についてはセキュリティ人材と比べると需給の逼迫度合いは少ないとの説明があった。

(10) ネーミングライツ事業取扱要領の制定について

足立理事から、資料11に基づき説明があり、審議の結果、選考委員会の委員構成の記載を研究所・施設で足並みを揃え組織規程に合わせるなど一部修正することを含め了承された。

なお、収入の扱いについて質問があり、外部資金獲得のインセンティブについては別途検討する必要があると考えているが、この要領には入れていない旨の説明があった。

また、選考委員会において選考の観点を決める際には、金額の多寡だけでなく、こういった企業がタイアップすると機構にとって良いのかという点も必要であるとのコメントがあった。

<協議事項(11)はクローズド協議>

(11) URAの人事について(URA24-1)

足立理事から、別途配信資料に基づき説明があり、審議の結果、資料のとおり了承された。

以上